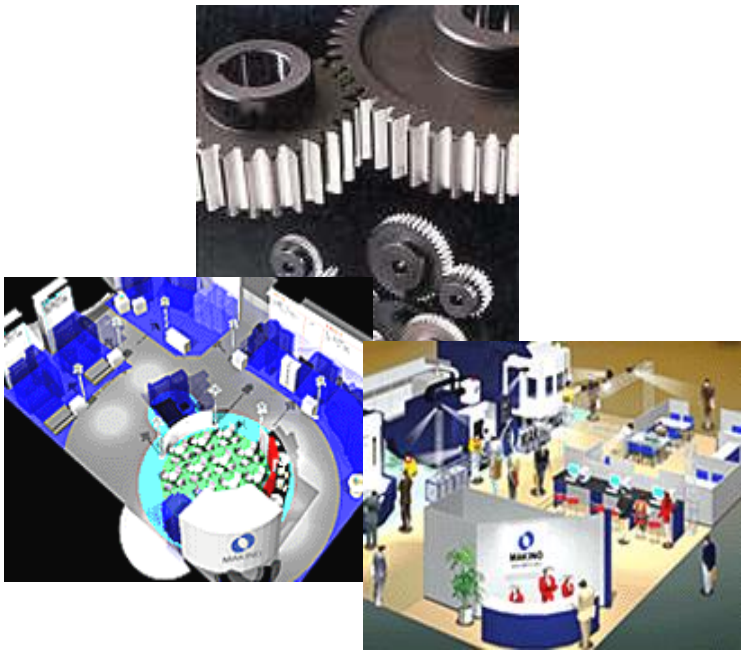
中小企業経営動向調査

平成２８年１２月末現在



公益財団法人 ひょうご産業活性化センター

中小企業経営動向調査

１　調査目的

公益財団法人ひょうご産業活性化センターでは、下請中小企業振興法に基づき取引情報の提供、取引適正化等の支援を行い、取引の活性化を図っています。

本調査は、中小企業の現状を把握し、下請取引あっせん及び今後の中小企業施策の検討に資することを目的に実施しています。

２　調査項目

Ⅰ－１　操　業　割　合　----------　１
２　現在の受注残高　----------　２
３　採　算　状　況　----------　３
４　資　金　繰　り　----------　４
５　今後の受注見通し　----------　５
Ⅱ－１　受注量　（主要受注先）　----------　６
２　受注単価（主要受注先）　----------　７

３　調　　査

（１）調査の対象期間　　平成 28 年 10 月 ～ 12 月

（２）回答状況

業　　種	調　査	今回調査		前回調査	
		回　答	率	回　答	率
繊維製品製造業	60	30	50.0%	29	48.3%
金属製品製造業	60	38	63.3%	40	66.7%
一般機械器具製造業	60	41	68.3%	40	66.7%
電気機械器具製造業	60	32	53.3%	33	55.0%
輸送用機械器具製造業	60	39	65.0%	38	63.3%
計	300（下請中小企業）	180（企業）	60.0%	180（企業）	60.0%

※一般機械器具製造業には、はん用・生産用・業務用機械器具製造業を含む。
※電気機械器具製造業には、電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業を含む。
※構成比等は、端数を四捨五入しているため、合計において 100%にならない場合がある。

概　　要

兵庫県内の平成 28 年 10 月～12 月期における中小企業経営動向調査の概要（前回調査 H28 年 7 月～9 月期との比較等）は以下のとおり。

【全体】

10～12 月期調査の特徴としては、業種間のばらつきはあるものの、すべての調査項目で「増加」・「好転」と回答した企業が増えており、前回の調査時よりやや回復基調に転じている。

【項目別】

○**操業割合は**、「80%以上」と回答した企業は 82.2%と、前回調査の 80.0%から 2.2ﾎﾟｲﾝﾄ上昇し、やや好転する結果となった。

○**現在の受注残高は**、現在の受注残高が、「1 か月超」と回答した企業は 49.5%と、前回調査の 42.7%から 6.8ﾎﾟｲﾝﾄ増加し、やや回復している。

○**採算状況は**、前年同期と比べた採算状況は、「好転」と回答した企業が 2.2ﾎﾟｲﾝﾄ増加し、「悪化」が 3.9ﾎﾟｲﾝﾄ減少しており、前回調査に引き続き回復傾向を維持している。

○**資金繰りは**、前年同期と比べた資金繰りは、「好転」と回答した企業は 2.8 ﾎﾟｲﾝﾄ増加し、「悪化」と回答した企業は 6.6ﾎﾟｲﾝﾄ減少、前回調査からの改善傾向を維持している。

○**今後の受注見通しは**、今後の受注見通しは、前回調査から「増加」と回答した企業は 3.9ﾎﾟｲﾝﾄ上昇、「減少」と回答した企業は 8.3ﾎﾟｲﾝﾄ下降し、やや上向きとなった。

○**受注量（主要受注先）については**、前年同期と比べた主要受注先からの受注量は、前回調査と比べて「増加」は 2.2ﾎﾟｲﾝﾄ上昇し、「減少」が 6.1ﾎﾟｲﾝﾄ下降しており、前回調査に引き続き増加傾向を維持している。

○**受注単価（主要受注先）については**、前年同期と比べた主要受注先からの受注単価は、前回調査と比べて「上昇」が 0.6ﾎﾟｲﾝﾄ増加、「下降」と回答した企業は 3.8ﾎﾟｲﾝﾄ減少し、僅かに改善している。

Ⅰ－１ 操業割合　　操業割合はやや好転

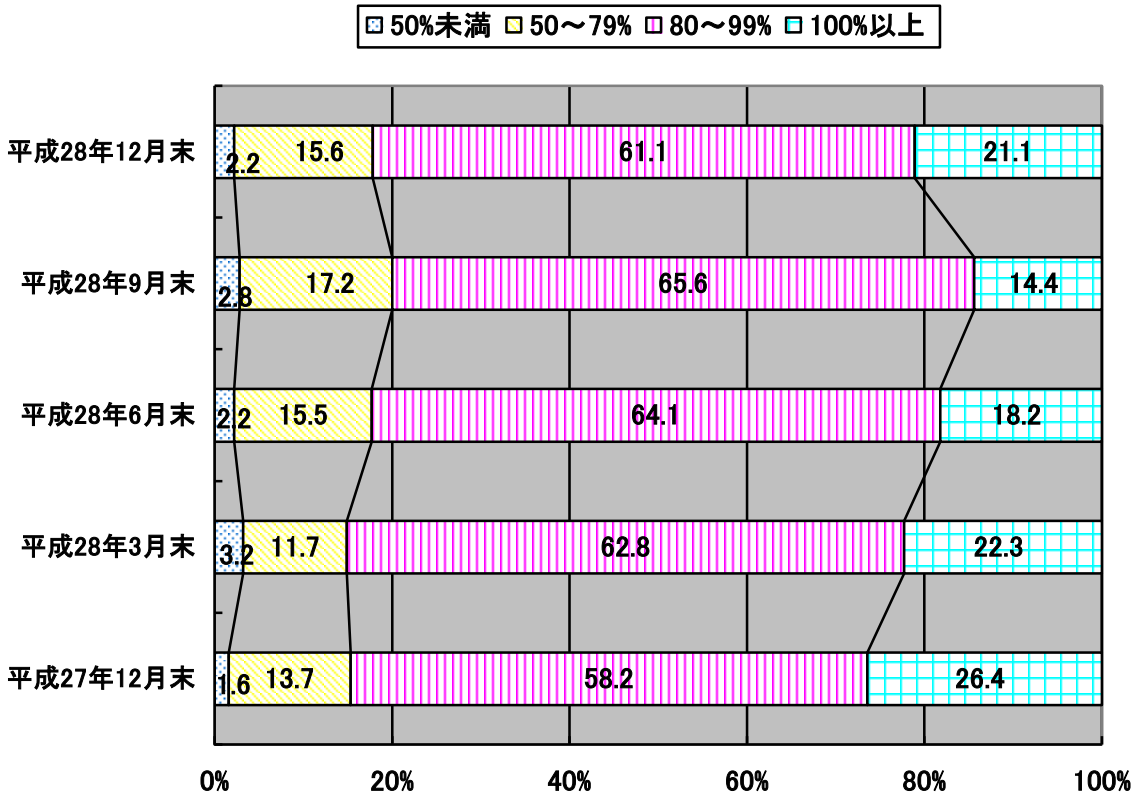
操業割合が、「80%以上」と回答した企業は 82.2%(「80～99%」61.1% ＋「100%以上」21.1%)と、前回調査の 80.0%(同 65.6%＋同 14.4%)から 2.2 ﾎﾟｲﾝﾄ上昇し、やや好転する結果となった。

業種別で見ると、金属製品で「80%～99%」の操業割合と回答した企業が、17.4 ﾎﾟｲﾝﾄ減少(70.0%→52.6%)し、「100%以上」と回答した企業が 13.9 ﾎﾟｲﾝﾄ(15.0%→28.9%)増加している。

単位 ： % 、(　)内は前回調査値

区　分	50%未満	50～79%	80～99%	100%以上	合計
繊維製品	10.0 (13.8)	13.3 (20.7)	53.3 (44.8)	23.3 (20.7)	100 (100)
金属製品	0.0 (0.0)	18.4 (15.0)	52.6 (70.0)	28.9 (15.0)	100 (100)
一般機械	2.4 (0.0)	14.6 (22.5)	61.0 (60.0)	22.0 (17.5)	100 (100)
電気機械	0.0 (3.0)	25.0 (21.2)	68.8 (69.7)	6.3 (6.1)	100 (100)
輸送用機械	0.0 (0.0)	7.7 (7.9)	69.2 (78.9)	23.1 (13.2)	100 (100)
合　計	2.2 (2.8)	15.6 (17.2)	61.1 (65.6)	21.1 (14.4)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が 10%以上の増減があるものを示す。



Ⅰ－２ 現在の受注残高　　受注残高はやや回復

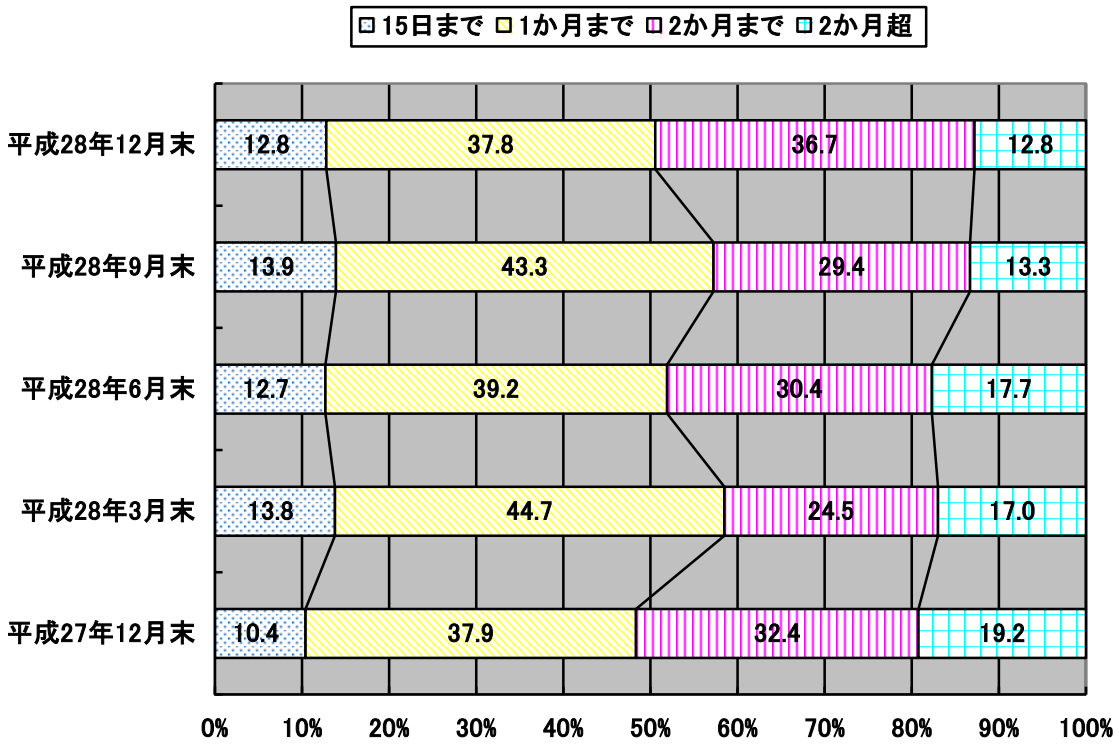
現在の受注残高が、「1 か月超」と回答した企業は 49.5%（「1 か月～2 か月」36.7%＋「2 か月超」12.8%）と、前回調査の 42.7%（同 29.4%＋同 13.3%）から 6.8 ﾎﾟｲﾝﾄ増加し、やや回復している。

業種別で見ると、電気機械では「1 か月超」と回答した企業が 16.7 ﾎﾟｲﾝﾄ(36.4%→53.1%)増加し、他の 3 業種でも「1 か月超」と回答した企業が増加する結果となった。

単位 ： % 、（　）内は前回調査値

区　分	15 日まで	1 か月まで	1 か月～2 か月	2 か月超	合計
繊維製品	33.3 (31.0)	40.0 (48.3)	20.0 (13.8)	6.7 (6.9)	100 (100)
金属製品	7.9 (12.5)	47.4 (40.0)	36.8 (37.5)	7.9 (10.0)	100 (100)
一般機械	4.9 (7.5)	26.8 (37.5)	46.3 (37.5)	22.0 (17.5)	100 (100)
電気機械	9.4 (9.1)	37.5 (54.5)	40.6 (21.2)	12.5 (15.2)	100 (100)
輸送用機械	12.8 (13.2)	38.5 (39.5)	35.9 (31.6)	12.8 (15.8)	100 (100)
合　計	12.8 (13.9)	37.8 (43.3)	36.7 (29.4)	12.8 (13.3)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が 10%以上の増減があるものを示す。



Ⅰ－３ 採算状況　　採算状況は回復傾向を維持

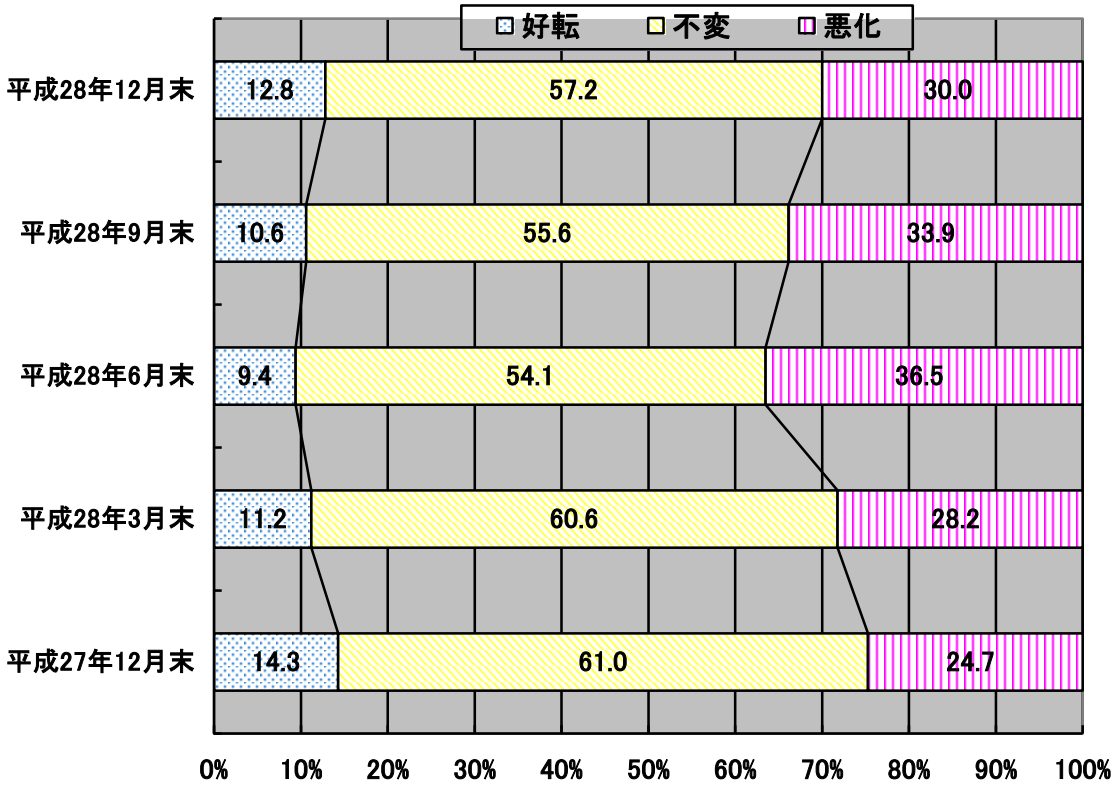
前年同期と比べた採算状況は、「好転」と回答した企業が 2.2 ﾎﾟｲﾝﾄ(10.6%→12.8%)増加し、「悪化」が 3.9 ﾎﾟｲﾝﾄ(33.9%→30.0%)減少しており、前回調査に引き続き回復傾向を維持している。

業種別で見ると、繊維製品や金属製品、輸送用機械では「悪化」と回答した企業が 10 ﾎﾟｲﾝﾄ以上減少する結果となったが、一般機械で「悪化」と回答した企業が 13.9 ﾎﾟｲﾝﾄ(30.0%→43.9%)増加し、「好転」と回答した企業が 5.2 ﾎﾟｲﾝﾄ(12.5%→7.3%)減少している。

単位 ： % 、(　)内は前回調査値

区　分	好転	不変	悪化	合計
繊維製品	13.3 (6.9)	63.3 (58.6)	23.3 (34.5)	100 (100)
金属製品	18.4 (12.5)	60.5 (55.0)	21.1 (32.5)	100 (100)
一般機械	7.3 (12.5)	48.8 (57.5)	43.9 (30.0)	100 (100)
電気機械	12.5 (15.2)	56.3 (57.6)	31.3 (27.3)	100 (100)
輸送用機械	12.8 (5.3)	59.0 (50.0)	28.2 (44.7)	100 (100)
合　計	12.8 (10.6)	57.2 (55.6)	30.0 (33.9)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が 10%以上の増減があるものを示す。



Ⅰ－４ 資金繰り　資金繰りは改善傾向を維持

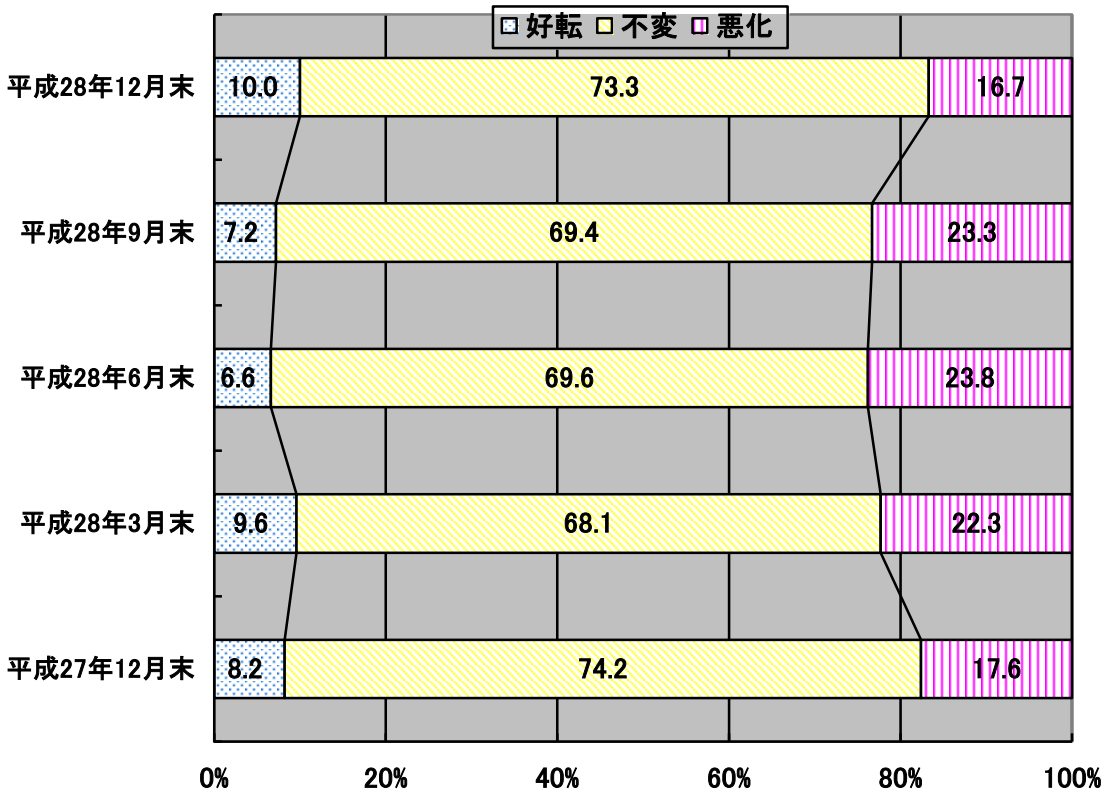
前年同期と比べた資金繰りは、「好転」と回答した企業は 2.8 ﾎﾟｲﾝﾄ（7.2%→10.0%）増加し、「悪化」と回答した企業は 6.6 ﾎﾟｲﾝﾄ（23.3%→16.7%）減少、前回調査からの改善傾向を維持している。

業種別では、繊維製品で「好転」と回答した企業が 6.6 ﾎﾟｲﾝﾄ（3.4%→10.0%）増加し、「悪化」が 10.9 ﾎﾟｲﾝﾄ（27.6%→16.7%）減少、輸送用機械でも「悪化」と回答する企業が 11.1 ﾎﾟｲﾝﾄ（31.6%→20.5%）減少する結果となった。

単位 ： % 、（　）内は前回調査値

区　分	好転	不変	悪化	合計
繊維製品	10.0 (3.4)	73.3 (69.0)	16.7 (27.6)	100 (100)
金属製品	10.5 (7.5)	78.9 (72.5)	10.5 (20.0)	100 (100)
一般機械	7.3 (7.5)	75.6 (72.5)	17.1 (20.0)	100 (100)
電気機械	12.5 (6.1)	68.8 (75.8)	18.8 (18.2)	100 (100)
輸送用機械	10.3 (10.5)	69.2 (57.9)	20.5 (31.6)	100 (100)
合　計	10.0 (7.2)	73.3 (69.4)	16.7 (23.3)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が 10%以上の増減があるものを示す。



Ⅰ－５ 今後の受注見通し　今後の受注見通しはやや上向き

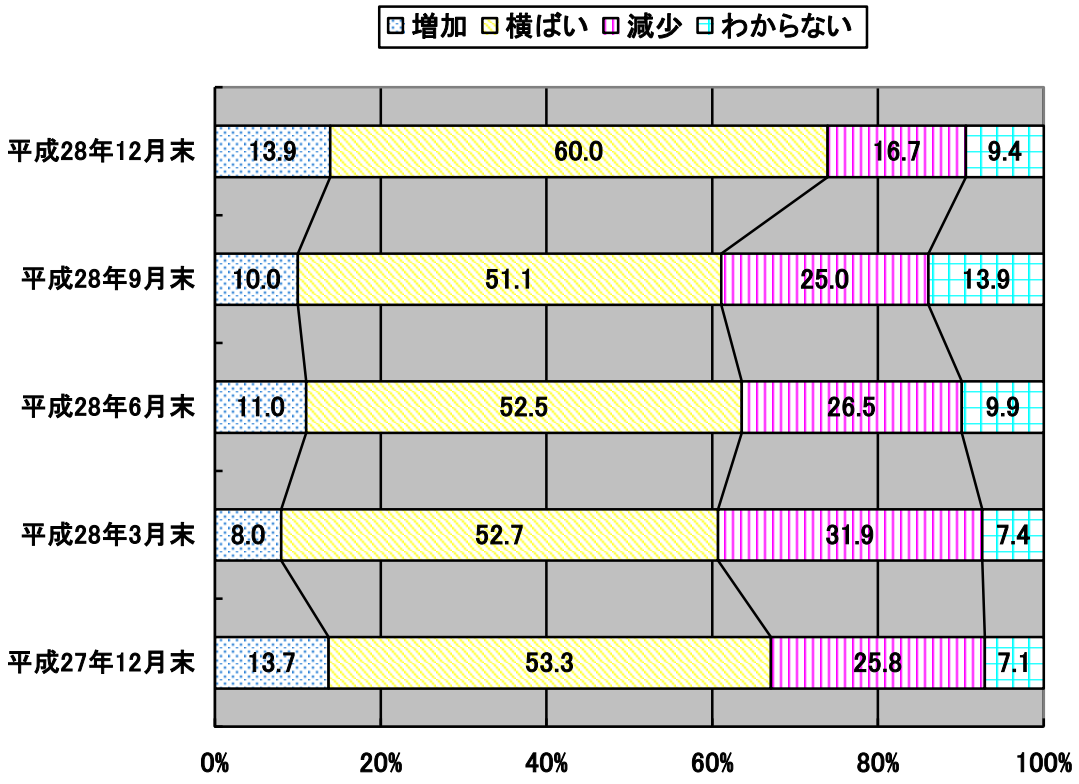
今後の受注見通しは、前回調査から「増加」と回答した企業は3.9ﾎﾟｲﾝﾄ（10.0%→13.9%）上昇、「減少」と回答した企業は8.3ﾎﾟｲﾝﾄ（25.0%→16.7%）下降し、やや上向きとなった。

業種別では、電気機械で「増加」と回答した企業が12.9ﾎﾟｲﾝﾄ（15.2%→28.1%）上昇。輸送用機械では「増加」が4.9ﾎﾟｲﾝﾄ（7.9%→12.8%）上昇し、「減少」と回答した企業が18.6ﾎﾟｲﾝﾄ（26.3%→7.7%）下降する結果となった。

単位 ： % 、（　）内は前回調査値

区　分	増加	横ばい	減少	わからない	合計
繊維製品	0.0 (3.4)	66.7 (48.3)	20.0 (20.7)	13.3 (27.6)	100 (100)
金属製品	13.2 (7.5)	63.2 (57.5)	13.2 (22.5)	10.5 (12.5)	100 (100)
一般機械	14.6 (15.0)	58.5 (45.0)	22.0 (32.5)	4.9 (7.5)	100 (100)
電気機械	28.1 (15.2)	43.8 (54.5)	21.9 (21.2)	6.3 (9.1)	100 (100)
輸送用機械	12.8 (7.9)	66.7 (50.0)	7.7 (26.3)	12.8 (15.8)	100 (100)
合　計	13.9 (10.0)	60.0 (51.1)	16.7 (25.0)	9.4 (13.9)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が10%以上の増減があるものを示す。



Ⅱ－１受注量(主要受注先)　受注量は増加傾向を維持

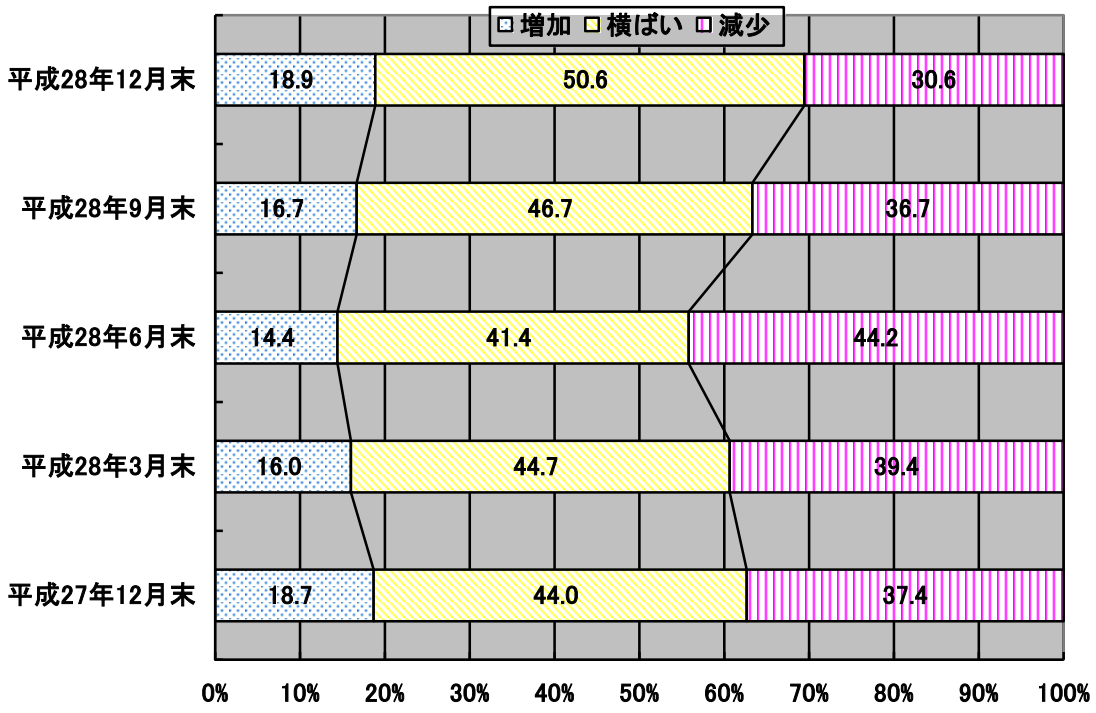
前年同期と比べた主要受注先からの受注量は、前回調査と比べて「増加」は 2.2ﾎﾟｲﾝﾄ(16.7%→18.9%)上昇し、「減少」が 6.1ﾎﾟｲﾝﾄ(36.7%→30.6%)下降しており、前回調査に引き続き増加傾向を維持している。

業種別では、輸送用機械で「増加」と回答した企業が 7.3ﾎﾟｲﾝﾄ(13.2%→20.5%)上昇し、「減少」と回答した企業は 19.1ﾎﾟｲﾝﾄ(44.7%→25.6%)下降している。

単位 ： % 、(　)内は前回調査値

区　分	増加	横ばい	減少	合計
繊維製品	13.3 (10.3)	56.7 (55.2)	30.0 (34.5)	100 (100)
金属製品	18.4 (17.5)	50.0 (47.5)	31.6 (35.0)	100 (100)
一般機械	14.6 (15.0)	48.8 (52.5)	36.6 (32.5)	100 (100)
電気機械	28.1 (27.3)	43.8(36.4)	28.1 (36.4)	100 (100)
輸送用機械	20.5 (13.2)	53.8 (42.1)	25.6 (44.7)	100 (100)
合　計	18.9(16.7)	50.6 (46.7)	30.6 (36.7)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が 10%以上の増減があるものを示す。



Ⅱ－２ 受注単価(主要受注先)　受注単価は僅かに改善

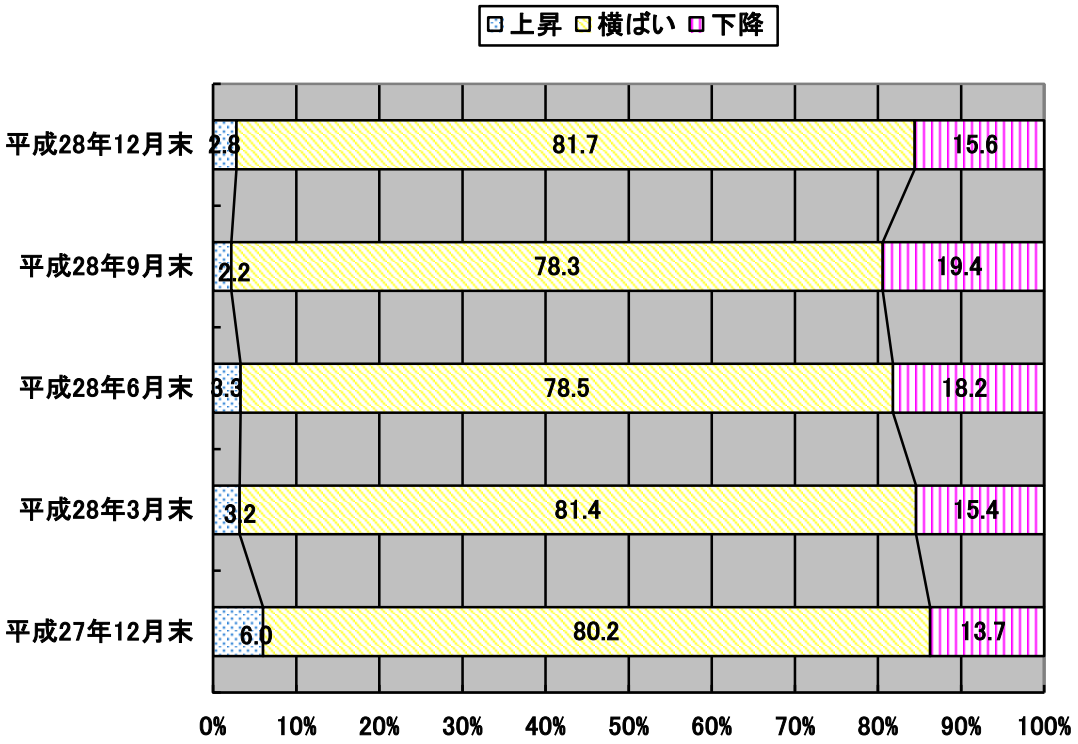
前年同期と比べた主要受注先からの受注単価は、前回調査と比べて「上昇」が 0.6ﾎﾟｲﾝﾄ(2.2%→2.8%)増加、「下降」と回答した企業は 3.8ﾎﾟｲﾝﾄ(19.4%→15.6%)減少し、僅かに改善している。

業種別で見ると、輸送用機械では「上昇」と回答した企業は 2.6ﾎﾟｲﾝﾄ（0.0%→2.6%）増加し、「下降」が 13.7ﾎﾟｲﾝﾄ（31.6%→17.9%）減少している。

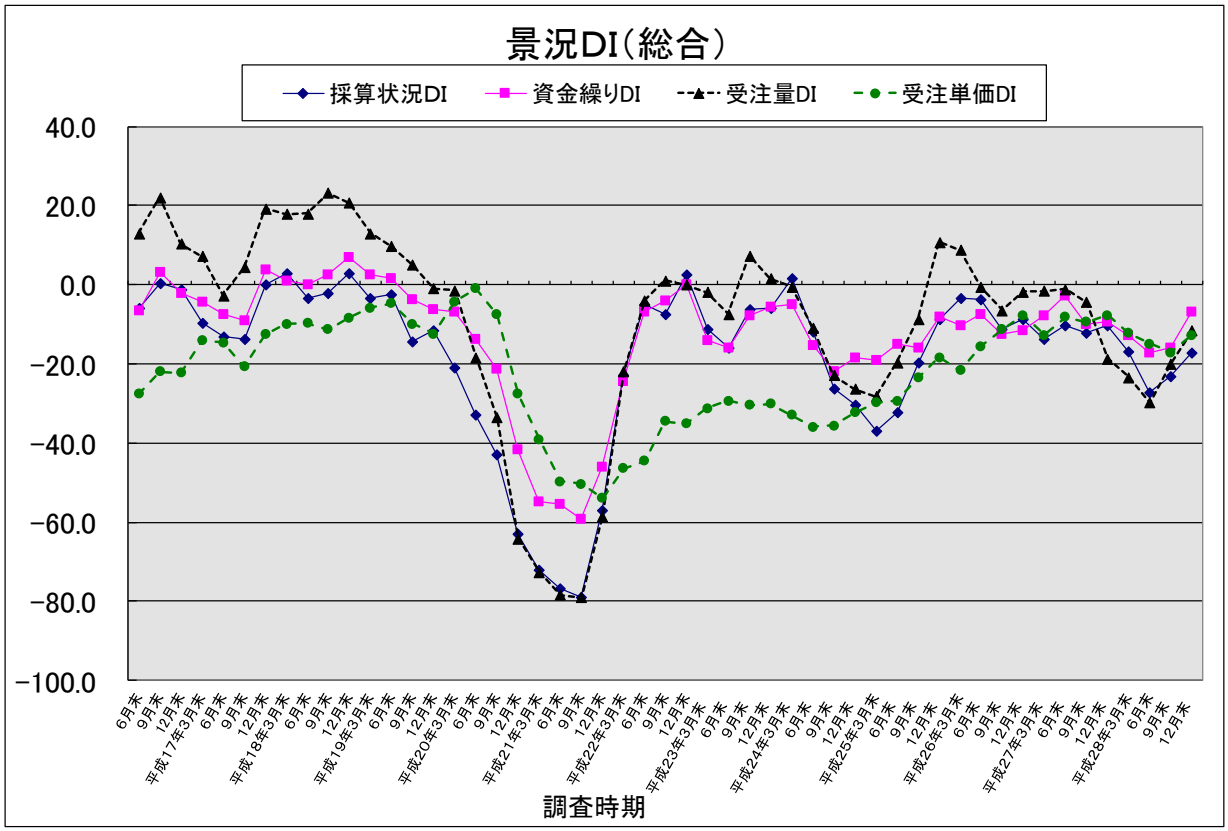
単位 ： % 、（　）内は前回調査値

区　分	上昇	横ばい	下降	合計
繊維製品	0.0 (6.9)	86.7 (79.3)	13.3 (13.8)	100 (100)
金属製品	2.6 (5.0)	84.2 (87.5)	13.2 (7.5)	100 (100)
一般機械	2.4 (0.0)	80.5 (77.5)	17.1 (22.5)	100 (100)
電気機械	6.3 (0.0)	78.1 (78.8)	15.6 (21.2)	100 (100)
輸送用機械	2.6 (0.0)	79.5 (68.4)	17.9 (31.6)	100 (100)
合　計	2.8 (2.2)	81.7 (78.3)	15.6 (19.4)	100 (100)

注）下線は、今回調査と前回調査の調査結果割合が 10%以上の増減があるものを示す。



参考　景況ＤＩの推移



景況ＤＩ：前年同期と比較した各項目におけるプラス要因（好転、増加、上昇）の回答割合から、マイナス要因（悪化、減少、下降）の回答割合を差し引いた係数

◆採算状況ＤＩ：「好転」－「悪化」　（やや好転）
■資金繰りＤＩ：「好転」－「悪化」　（僅かに好転）
▲受注量（主要受注先）ＤＩ：「増加」－「減少」　（全般的に上昇）
●受注単価（主要受注先）ＤＩ：「上昇」－「下降」　（僅かに上昇）